

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位  
 対象学年組：第2学年 1組～ 組  
 教科担当者：（1組：磯田）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）  
 使用教科書：（生物基礎 実教出版）

教科 理科 の目標：  
 【知識及び技能】自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験など  
 【思考力、判断力、表現力等】人間生活と生命の在り方、生命尊重の考えから物事を判断し、解決に向けて思考する。  
 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を育む。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての観察、実験などを行うことを通して、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する	生物や生物現象を対象に、探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法が習得できている。また、報告書を作成したり発表したりして、科	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度が養われている。その際、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度が養われている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	生物の特徴 【知識及び技能】 ・地球上の多種多様な環境と適応した生物の存在の理解。 ・生物に共通する特徴から、生命を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生物の生息環境の違いが生命の多 定期考査	第1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性	【知識・技能】生物多様性について理解している。生物の共通性について理解している。 【思考・判断・表現】 生物の多様性と共通性から、生命活動について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生命について考え、自己の生命活動について考えをむけ、生命尊重に向かえる。	○	○	○	10
	細胞とエネルギー 【知識及び技能】 細胞の構造とその働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生命活動に伴う化学反応から細胞構造の役割分担を考える。 生命の多様性を生み出す原因を考えさせる。 定期考査	2節 細胞とエネルギー	【知識・技能】 細胞構造、細胞小器官の働きについて理解している。生命活動のエネルギーの流れを理解している。 【思考・判断・表現】 生命活動について物質とエネルギーの利用の観点から考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	14
				○	○		1
2 学 期	第2章 遺伝子とその働き 【知識及び技能】 生物の遺伝情報がDNAによって担われていること、その研究の歴史と理解。 DNAからタンパク質が合成される仕組みと現代生物学の根幹をなすセントラルドグマの理解。 定期考査	第2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA 2節 遺伝情報とタンパク質の合成	【知識・技能】 生物の遺伝現象について、遺伝子・DNAを理解し結びつけることができる。 【思考・判断・表現】 生物の特徴が遺伝子から生じていることを考え、同種・異種の差異に考えを進めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	12
				○	○		1
	第3章 ヒトのからだの調節 【知識及び技能】 生命活動を維持するための条件を理解しホメオスタシスの仕組みを学ぶ。 地球環境の中で植物の持つ重要性を理解し、植生の特徴を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 定期考査	第3章 ヒトのからだの調節 1節 体内環境 2節 体内環境の維持のしくみ 3節 免疫 第4章 生物の多様性と生態系 1節 植生とその成り立ち	【知識・技能】 生命活動に必要な物質の成り立ちを知り、理解している。体内環境の維持の仕組みについて理解している。植生と環境の関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ホメオスタシスの重要性を動物と植物・生育環境を結び付けて考えることができる。	○	○	○	12
			○	○		1	
3 学 期	第4章 生物の多様性と生態系 【知識及び技能】 地球の環境が生み出す植生とバイオームについて学ぶ。 生態系のバランスを担保するものが生物多様性であることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 なぜ生態系の維持が重要なのか、生 定期考査	第4章 生物の多様性と生態系 2節 植生とバイオーム 3節 生態系と生物の多様性 4節 生態系のバランスと保全	【知識・技能】 食物連鎖・寄生・共生といった生物同士の関りを理解している。生物と環境の関係が多様性を生みだすことを理解している。 【思考・判断・表現】 人間の生活と生物多様性のバランスについて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	17
				○	○		1
				○	○		合計 70